

# 一人ひとりの思いを尊重しながら 利用者の生活をサポート

～日常生活自立支援事業の専門員と生活支援員の活動～



令和6年度日常生活自立支援事業専門員研修会

こうした中で、支援にあたる専門員と生活支援員は、口頭ごのようなことを心がけて、より良いサービス提供を目指しているのか…。盛岡市社協の生活支援員福井善之さんと専門員根田秋雄さんにお話をうかがいました。

生活支援員 福井善之さん



専門員 根田秋雄さん



「支援の前には、前回の訪問記録を再度見返して援助実施記録の準備をします。利用者宅を訪問した際は、ちよっとした変化を見逃さないよう見守りの目線で接するよう心がけているほか、利用者のお金を預かっていることを肝に銘じて、利用者の気持ちを尊重するようにしています。お金の使い方も私自身の価値観を押し付けることはせず、あくまでも利用者の気持ちを尊重しますが、一方で利用者の要望を鵜呑みにするだけでは収入に見合った生活が維持できなくなる場合も予想されます。そのため、利用者の希望を汲み取った上で、折衷案を丁寧に説明し、利用者の満足度を高められるよう心がけています。」

「利用者への生活費のお届け、各種料金の支払手続の支援を行っているのは生活支援員なので、生活支援員あつての専門員です。朝、生活支援員が元気に出勤しているか様子を見て、その日実施してもらう指示書を渡して打ち合わせを行います。私は、誰に対してどこで何をするか、どこまで責任が持てるか、という場のポジションを意識し、利用者、生活支援員、関係機関等との関係を築くように心がけています。利用者との契約し、金銭管理の支援を始めたことで、医療や他の福祉サービスの連携がより密になり、新たなサービスが利用され、利用者の生活の質が向上したと報告を受けた時、この仕事のやりがい、手ごたえを感じます。」

日常生活自立支援事業は、認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等で、判断能力が不十分な方が地域で自立した生活を送れるよう、利用者との契約に基づき、福祉サービスの利用手続や日常的な金銭管理をお手伝いする事業です。事業の利用相談窓口は、各市町村社協です。利用の相談を受けると、基幹社協（下記参照）の専門員が利用希望者と面談し、生活状況や必要な支援内容等を確認の上契約します。契約後は生活支援員が各利用者のご自宅等を訪問して支援を行います。

岩手県社協では、基幹社協及び協力社協の専門員や生活支援員がより良い支援を行えるよう、各種研修会の開催や、定期訪問による業務点検等を実施しています。また、県からの委託を受け、制度利用が望ましい方への日常生活自立支援事業から成年後見制度への移行支援を推進するための体制整備の取組を行っています。

なお、この事業を実施するにあたっては、利用者や社協の契約内容を審査するための契約締結審査会、サービス提供の適正さを監督するための運営監視小委員会が設置されており、安心してサービスを利用できるよう適正な事業運営に努めています。

## 【盛岡市社協の専門員と生活支援員の1日の活動の流れ】

①朝礼 (8時30分)



その日対応する利用者の預かり物件（通帳、印鑑等）を金庫から出納し、専門員と担当職員で確認。

②生活支援員出勤 (8時40分)



朝礼終了後、生活支援員が出勤。

③専門員と生活支援員の打合せ (8時45分)



専門員が生活支援員に支援内容の指示書を渡し、打合せ。

④支援先に出発 (9時)



打合せ終了後、生活支援員は支援先に出発。

⑧終礼 (16時30分)



その日対応した利用者の預かり物件（通帳・印鑑等）が全てであることを専門員と担当職員で確認し、金庫へ収納。

⑦支援後の専門員と生活支援員の打合せ



その日支援した利用者の様子や状況等を共有。

⑥生活支援員が戻る



その日の支援が終了した生活支援員が事務所に戻ってくる。

⑤関係機関との調整や利用希望者への対応



生活支援員が支援先に出発後、専門員は翌日以降の支援に向けた準備や相談対応。

## 県内の実施体制

基幹社協は、本事業の利用者・利用希望者に関する情報の連絡・調整等について、各協力社協と連携を図っている。

基幹社協	協力社協エリア	基幹社協	協力社協エリア
盛岡市社協	紫波町、矢巾町	一関市社協	平泉町
滝沢市社協	栗石町	大船渡市社協	陸前高田市、住田町
八幡平市社協	葛巻町、岩手町	釜石市社協	遠野市、大槌町
花巻市社協	—	宮古市社協	山田町、岩泉町、田野畑村
北上市社協	西和賀町	久慈市社協	洋野町、普代村、野田村
奥州市社協	金ケ崎町	二戸市社協	一戸町、軽米町、九戸村

盛岡市社協は基幹社協として、盛岡市、矢巾町、紫波町の1市2町における利用者230名程の支援を行っています。管内の利用者の特徴は、精神障がいの方や生活保護世帯、若年層が多いため1人当たりの契約年数が長いことが挙げられます。